

# どこに避難する？避難時の注意点



- 避難とは「難」を「避」けること。普段からどう行動するか決めておきましょう。
- 避難には以下の4つの行動があります。いずれにしても **早めの行動** を心がけましょう。

## 1. 指定の避難所への立退き避難



浸水が始まる前に、非常持ち出し袋を持って避難所へ避難しましょう。安全に通行できるか、事前に避難所までの避難経路を歩いて確認しておきましょう。

## 2. 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時の避難について相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



## 3. 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要となります。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



## 4. 屋内安全確保

ハザードマップで以下の「**3つの条件**」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分  
※野々市市の浸水継続時間は1日程度と想定されています。



## 避難時の注意点

① 戸締りや火元・電気のブレーカーなどを確認しましょう。



② 一人ではなく、地域で助け合いながら避難しましょう。



③ 溝やマンホールの穴に注意しましょう。

内水氾濫でマンホールのふたが浮き上がって外れている場合があります。

やむを得ず浸水した状況で避難する場合は、棒などで足元を確認しながら進みましょう。



④ 雨や風の強いとき・夜間の避難は危険！早めに避難しましょう。



⑤ 絶対に川や田んぼの様子を見に行ってはいけません。



すでに浸水が始まっており、避難所等への移動がかえって危険な場合は、自宅や近くの頑丈な建物の2階以上に避難しましょう。



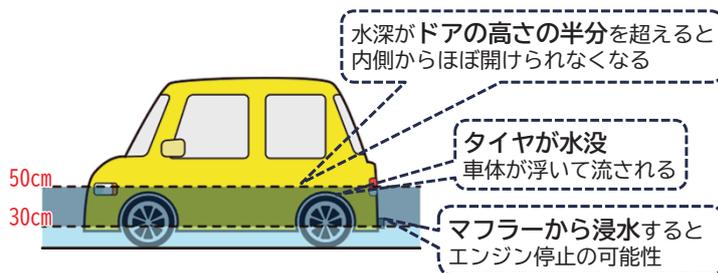
## 車避難の危険性

① 車での避難には様々な危険性があります！

- ・ 浸水しているアンダーパスで動けなくなる
- ・ 川沿いや田んぼ沿いの道路で転落する
- ・ 渋滞が発生し、避難に時間がかかる

やむを得ず車で避難する場合は、十分に余裕をもって浸水が始まる前に避難しましょう。

② 車が浸水するとどうなる？



※水深は目安であり、車種によって受ける影響は異なります。

③ もしも冠水した道路で動けなくなったら…

緊急脱出用ハンマーを車に載せておきましょう。



④ もしも車内に水が入ってきたら…

車内と車外の水位の差が小さくなってから、大きく息を吸い込み足などに力を込めて押し開け、一気に脱出を図りましょう。